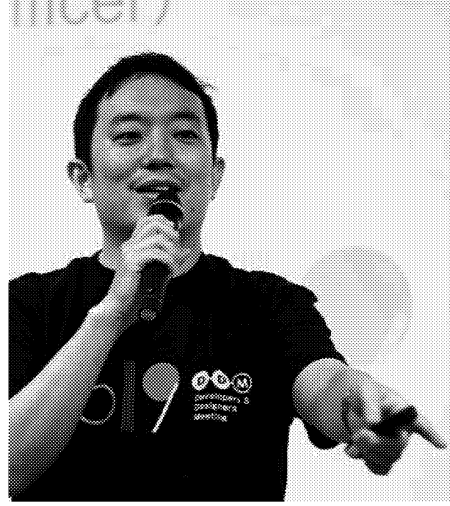


高専出身者が様々な分野で活躍している。もの作りの現場から、最近ではデジタルの世界へと広がりをみせる。ヤフー取締役常務執行役員最高技術責任者（CTO）の藤門千明氏もその一人だ。藤門氏はどのような高専生で、何を学び、今、ビジネスの世界でどのように技術を開花させようとしているのか。藤門氏に

## 課題設定、答え導く力獲得

### OBのヤフー・藤門CTOに聞く

ふじもん・ちあき 1996年に沼津工業高等専門学校入学。筑波大学、同大学院卒。2005年ヤフー入社。エンジニアとしてヤフージャパンIDやヤフーショッピング、ヤフーオクなどの決済システム構築などに携わる。決済金融部門のテクニカルディレクターなどを経て15年にCTO就任。19年より現職。



「高専愛」を語ってもらった。95年にウィンドウズ95が発売され、話題になった。沼津工業高専専門——沼津工業高専専門学校に進んだ理由を教えてください。日本が変わる』

「中学時代に学級新聞を作る係をしていました。伯父からもらったワープロで新聞を作った。クラスのみんなが驚いて、喜んでくれました。『すごい。手書きじゃないんだ』と。コンピューターを使って物事を便利にしたり、喜ばせたりした原体験でした。早くコンピューターを仕事にしたい。それができるのが高専だったわけです。高専に入学する覚悟はどれほどでしたか。『それほどではありませんでした。寮生活だ

### 「起業の土壌 十分ある」

#### 最近の沼津高専生の活躍

- ・全国高等専門学校プログラミングコンテストのチームが敢闘賞を受賞
- ・アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト（高専ロボコン）でチーム「チャリモ」が全国大会出場へ
- ・高専ワイヤレスIoTコンテストで、「気温差制御ファクトリー」がIoT部門で採択され、技術実証

「高専を選んで良かったです。高校だと大学受験のための勉強になりますが、高専は今、学んでいることが『何の役に立っているのか』がよくわかります。コンピューターグラフィックスは行方不明です。AI（人工知能）を使う人工知能（AI）」

と通学時間がなくなるの緒になって面白いことをやるかと考えていたの。寮生活の改善をしようとして行動していました。『いま社会人としてマネジメントをやっている。エンジニアは一人の仕事を進めていく。何人か参加していません。寮生活でいろいろな才能と向き合えたのがよかった。重要なポイントだ。動かす授業をしていました。むしろ、人とその後進んだ筑波大学。大学院で生まれましたか。高専5年のときに卒業研究があります。まず課題を見つけて、実験や確認を繰り返して、そして発表の運びとなります。この一連のプロセスをやっていって、大学の卒業論文を書くための時間軸、フレームワークも経験があり、研究そのものに没頭できました。高専を選んで良かった。『はい。高校だと大学受験のための勉強になりますが、高専は今、学んでいることが『何の役に立っているのか』がよくわかります。コンピューターグラフィックスは行方不明です。AI（人工知能）を使う人工知能（AI）」